

栽培カレンダー



「家の光」2014年1月号
「家庭園芸」

●種まき ◡トンネル被覆 ●収穫



種子は小粒ですがよく発芽するので、じかまきでも育てやすいです。耐寒性はかなり強く、温暖地では露地でも越冬するほどですが、高温にはあまり強くないので、夏期にはべた掛け資材で遮光したほうが、良品が得られます。多湿には弱く、葉や葉柄はもろくて折れやすいので、その点に留意しましょう。

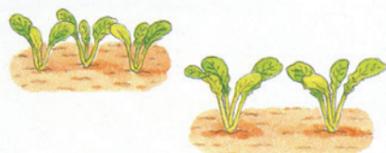
JA愛知西オリジナルキャラクター「レキ」

3 害虫防除

防虫ネット、またはべた掛け資材で防ぐ



4 間引き



草丈4~5cmの頃、3.5cm間隔に。7~8cmの頃、10cm間隔に

5 収穫



少量なら、葉をかき取ってもよい

葉の長さが15cm以上に伸びたら収穫できる

2 追肥

草丈5~6cmの頃

ベッドまきの場合

(1㎡当たり)
化成肥料
大さじ3杯

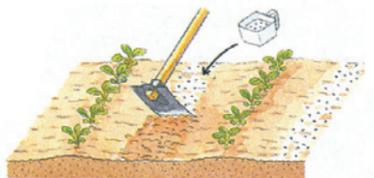


列の間にばらまき、竹べらなどで土に混ぜ込む

溝まきの場合

(畝の長さ1m当たり)

化成肥料
大さじ2杯



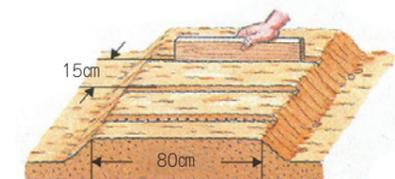
畝間にばらまいて、鍬で中耕する

1 種まき

元肥は、あらかじめ畑全面に耕し込んでおく

ベッドまき

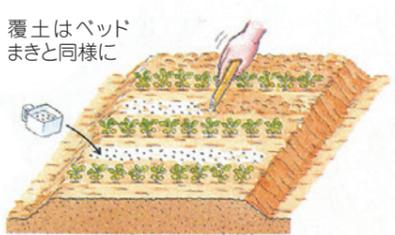
まき溝を作り、1~1.5cm間隔で条まき。覆土は0.5~0.7cmぐらい



(1㎡当たり)
完熟堆肥 3握り
油粕 大さじ5杯
化成肥料 大さじ3杯

溝まき

鍬幅の溝を作り、2cm間隔ぐらいはばらまく



鍬の背でかるく押さえておく

覆土はベッドまきと同様に



少量なら鉢栽培にしてもいい

『オデッセイ』『エルーカ』『ツモンルコラ』などの品種がありますが、その数は少なく、たんに「ルッコラ」「ロケットサラダ」などの名で市販されている種子をお買い求めいただき栽培してください。



かむほどじやさしく香る ルッコラ

別名ロケットサラダ。イタリアやフランスでサラダによく使われる野菜で、イタリア料理の普及とともに人気が出ました。日本では、歴史の浅い野菜です。
葉や花にゴマに似た香りと爽やかな辛さ、ほのかな苦みがあり、生食が一般的ですが、おひたしや炒め物にも使えます。

○収穫した野菜を産直広場で販売してみませんか? 只今、産直会員募集中! お申し込みは、最寄りの産直広場へ!

地域を守り地域の活性化をめざす共済事業編

当JAは、今まで以上に地域に寄り添い、地域に求められる組織をめざし、JA共済連愛知の「地域・農業活性化活動資金」を活用して、一宮市と稲沢市に様々な物資を寄贈したほか、イベントにも協賛してまいりました。
一宮市に寄贈した救助工具セットや、稲沢市に寄贈した防災倉庫には、大きな災害に襲われた際に人命を救う役割をしっかりと果たせるようお願いを込めたほか、一宮市の保育園に寄贈した芝刈り機や、稲沢市の老人福祉センターに寄贈したマッサージチェアなどには、施設を利用される方達に快適な時間をお過ごしただきたいとの思いを込めました。

今後とも地域に寄り添い、当JAが自己改革の実現に向けて掲げる3つの目標のひとつ「地域の活性化」をめざして、地域貢献活動に取り組んでまいります。

一宮市	稲沢市
公立保育園20園に芝刈り機を1台ずつ寄贈	市民センター7カ所に防災倉庫を1基ずつ寄贈
23区全てに救命工具セットを1セットずつ寄贈	老人福祉センター7カ所にマッサージチェアを1台ずつ寄贈
木曾川に生息する絶滅危惧種の淡水魚「イタセンパラ」を守るシンポジウムに協賛	市のスポーツ課に稲沢シティマラソンのゴールゲート1基寄贈

※上記以外の地域・農業活性化活動事業の取り組みにつきましては、来月号にてご紹介させていただきます。

一宮市の全地区に救助工具セットを寄贈



9月3日、ハンマーやノコギリ、スコップなど、災害時に人命救助に役立つ救命工具セットを一宮市23区全てに寄贈いたしました。
寄贈式は、同市貴船の貴船小学校で開催し、中野正康一宮市長をはじめ、ご出席いただきました全地区代表者の皆様に救命工具セットを披露し、各地区にお持ち帰りいただきました。

一宮市公立保育園20園に芝刈り機を1台ずつ寄贈



6月22日、一宮市で緑化事業の一環として、園庭の芝生化に取組む公立保育園20園に、芝生管理に役立てていただくことと、バッテリーで動く高性能の芝刈り機を1台ずつ寄贈いたしました。
寄贈式は、同市木曾川町の黒田保育園で開催し、中野正康一宮市長と園児たちに芝刈り機を披露いたしました。

稲沢市の市民センター7カ所に防災倉庫とマッサージチェアを寄贈



8月1日、地域防災力の強化や高齢者の健康維持に役立てていただくことと、稲沢市にある7カ所の市民センターに、防災倉庫1基とマッサージチェア1台をそれぞれ寄贈いたしました。
寄贈式は、大里東市民センターで開催し、加藤鏡司稲沢市長や施設利用者の皆様に披露しました。他にも、稲沢シティマラソンのゴールゲートなどを寄贈して地域振興に貢献いたしました。

イタセンパラを守るシンポジウムに協賛



8月2日、木曾川に生息する国の天然記念物で絶滅危惧種の淡水魚「イタセンパラ」を守るシンポジウムが一宮市尾西生涯学習センターで開催され、共に自然豊かな故郷を守ろうと、当JAも同シンポジウムに協賛いたしました。特別講師の「さかなクン」も、鮮やかなイラストを披露され、きれいな自然環境を守るうと来場者に呼びかけられました。